別表　評価基準（企画提案審査）

評価項目	評価項目の着目点		配点	評価基準
1 予定技術者の経験及び能力	管理技術者	技術者が有する技術者資格及びその専門分野の内容	3	土地区画整理士かつ技術士 総合技術監理部門（建設ー都市及び地方計画）
				土地区画整理士かつ技術士（建設部門「都市及び地方計画」）
				土地区画整理士かつＲＣＣＭ（「都市計画及び地方計画」）
		過去１０年間（平成27年４月以降に完了した業務）に担当した下記①～②の業務実績 ① 産業系区画整理設計を行う業務 ② 農振除外や市街化区域編入を伴う区画整理に関する関係機関協議に関する業務	3	①と②で同種業務の実績がある
				①は同種業務、②は類似業務の実績がある
				上記以外
	担当技術者（区画整理設計等） ※主たる担当技術者について評価	技術者が有する技術者資格及びその専門分野の内容	3	技術士 総合技術監理部門（建設ー都市及び地方計画）
				技術士（建設部門「都市及び地方計画」）
				ＲＣＣＭ（「都市計画及び地方計画」）
		過去１０年間（平成27年４月以降に完了した業務）に担当した下記①～②の業務実績 ① 産業系区画整理設計を行う業務 ② 農振除外や市街化区域編入を伴う区画整理に関する関係機関協議に関する業務	3	①と②で同種業務の実績がある
				①は同種業務、②は類似業務の実績がある
				上記以外
	主任技術者	技術者が有する技術者資格及びその専門分野の内容	3	測量士かつ空間情報総括監理技術、地理情報標準認定資格上級技術者、地理空間情報専門技術者基準点測量１級、地理情報標準認定資格中級技術者のいずれか
				測量士かつ地理空間情報専門技術者基準点測量２級又は地理情報標準認定資格初級技術者
				上記以外
		過去１０年間（平成27年４月以降に完了した業務）に担当した下記①～②の業務実績 ① 土地区画整理の事業化に必要な基準点測量、水準測量、現況測量及び地区界測量を行う業務 ② 土地区画整理の施行に必要な街区・画地確定測量を行う業務	3	①と②で同種業務の実績がある
				①は同種業務、②は類似業務の実績がある
				上記以外
	担当技術者（測量） ※主たる担当技術者について評価	技術者が有する技術者資格及びその専門分野の内容	3	測量士又は測量士補かつ空間情報総括監理技術、地理情報標準認定資格上級技術者、地理空間情報専門技術者基準点測量１級、地理情報標準認定資格中級技術者のいずれか
				測量士又は測量士補かつ地理空間情報専門技術者基準点測量２級又は地理情報標準認定資格初級技術者
				上記以外
		過去１０年間（平成27年４月以降に完了した業務）に担当した下記①～②の業務実績 ① 土地区画整理の事業化に必要な基準点測量、水準測量及び現況測量を行う業務 ② 土地区画整理の施行に必要な街区・画地確定測量を行う業務	3	①と②ともに同種業務の実績がある
				①は、同種業務、②は類似業務の実績がある
				上記以外
2 業務体制	会社	過去１０年間（平成27年４月以降に完了した業務）に担当した下記①～②の業務実績 ア 区画整理設計、計画協議 ① 産業系区画整理設計を行う業務 ② 農振除外や市街化区域編入を伴う区画整理に関する関係機関協議に関する業務 イ 測量 ① 土地区画整理の事業化に必要な基準点測量、水準測量及び現況測量を行う業務 ② 土地区画整理の施行に必要な街区・画地確定測量を行う業務	3	全てにおいて、同種業務の実績がある
				区画整理設計①と②で同種業務の実績がある 測量①は同種業務、②は類似業務の実績がある
				上記以外
		担当技術者（区画整理設計等）及び担当技術者（測量）の複数従事体制	3	担当技術者（区画整理設計等）及び担当技術者（測量）をそれぞれ２名以上配置する
				担当技術者（区画整理設計等）及び担当技術者（測量）をそれぞれ１名配置する
合　計			30	

評価項目	評価項目の着目点	配点	評価基準
3 業務実施方針 及び企画提案	１．業務の実施方針、業務工程表	10	［業務理解度］ ・目的、条件、内容の理解度が高い場合、優位に評価する
			［実施手順］ ・業務実施手順を示す実施フロー及び工程表の妥当性が高い場合、優位に評価する。
			［実施手順］ ・業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。
			［その他］ ・業務に関する知識、有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。
	２．企画提案【テーマ１】	25	［的確性］ ・地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 ・着目点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合、優位に評価する。
			［実現性］ ・提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 ・提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。
			［独創性］（加点） ・周辺分野、異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。 ・新工法採用の提案がある場合に優位に評価する。
	３．企画提案【テーマ２】	25	［的確性］ テーマ1と同じ
			［実現性］ テーマ1と同じ
			［独創性］（加点） テーマ1と同じ
	５．評価テーマ間の整合性	5	［その他］（加点） ・相互に関連する複数の評価テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価し、矛盾がある等整合性が著しく悪い場合は評価しない。
	６．その他効果的な提案事項	5	［その他］（加点） ・本業務の遂行にあたり効果的かつ実現性の高い提案がある場合、優位に評価する。
合　計		70	
４．見積書	業務コストの妥当性		提示した業務規模と大きくかけ離れているなど、内容が不適切なときは無効とする。
総　合　計		100	